

「語りもんそ」

vol. 74 令和5年12月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪日曜の朝にカフェで音楽を♪♪♪
カフェミニ・コンサート
 出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
 アーティストバンク登録アーティスト
 宝山ホール2階 ”カフェ マ・ナ〜ナ”

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)
座席数は30席程度とし、事前申込による抽選制。

●令和5年10月22日(日)は、佐藤志織(ヴァイオリン)×中島優(ピアノ)デュオのお二人で、
 ♪メヌエット ト長調 作曲:L.v.ベートーヴェン
 ♪ハンガリー舞曲第5番 作曲:J.ブラームス
 ♪赤とんぼ 作曲:山田耕筰 編曲:島津秀雄
 ♪里の秋 作曲:海沼実 編曲:山田香
 ♪小さい秋見つけた
 作曲:中田喜直 編曲:島津秀雄
 ♪紅葉 作曲:岡野貞一 編曲:山田香
 ♪アンダー・ザ・シー
 作曲:A.メンケン 編曲:浦壁信二
 ♪パート・オブ・ユア・ワールド
 作曲:A.メンケン 編曲:挟間美帆
 ♪チャールダーシュ 作曲:V.モンティ
 ♪タイスの瞑想曲 作曲:J.マスネ
 ♪リベルタンゴ 作曲:A.ピアソラ
 全11曲とアンコールに、葉加瀬太郎作曲「情熱大陸」が演奏されました。

お客様から
 ・映画や童謡などいろんなジャンルの曲の構成で楽しかったです。
 ・仕事で疲れた気持ちがリフレッシュできました。
 ・素晴らしい演奏で楽しい気分になりました。

・親しみ易い選曲で、季節感ゆたかで楽しめた。美しい音色にうっとりした。ありがとうございました。
 ・日曜日の朝、すてきな音楽が楽しめてよい企画だと思います。童謡が良かったです。
 ・ヴァイオリン最高！ ピアノも良かったです。
 ・とても良かったです。
 ・とても楽しめました。
 ・ゆったりとした曲、テンポの良い曲と、とても聴きごたえがありました。生の演奏すてきですね。
 ・たいへん心地よいものでした。風を感じました。爽やかな気持ちです。
 ・メジャーな演奏会とかわからぬ演奏ありがとうございました。先日の「石田組」のアンコールも「リベルタンゴ」でしたが遜色なかったです。
 ・楽しく参加させていただきました。笑顔が素敵でした。
 ・先生方の素晴らしい演奏、ありがとうございました！目の前で聴けて幸せです！！高音はやはりヴァイオリンだ！
 ・仲良しだという2人の息の合った演奏良かったです。秋の曲のヴァイオリンとピアノが素敵でした。メヌエットも良かったです。
 などの感想をいただきました。



佐藤志織さん(左) 中島優さん(右)

●11月19日(日)は、森美紗さん(ソプラノ)と中村寛治さん(ピアノ)のお二人で、
 ♪優雅な月よ 作曲:V.ベッリーニ
 ♪「四季」より 10月「秋の月」
 作曲:P.チャイコフスキー
 ♪赤とんぼ 作詞:三木露風/作曲:山田耕筰
 ♪くちなし 作詞:高野喜久雄/作曲:高田三郎
 ♪ネコのおくりもの 作詞・作曲:佐藤賢太郎
 ♪幻想的小品集より「メロディー」
 作曲:S.ラフマニノフ
 ♪オペラ「フィガロの結婚」より
 “恋とはどんなものかしら”
 作曲:W.A.モーツァルト
 ♪オペラ「ラ・ボエーム」より
 “私が町を歩くと” 作曲:G.プッチーニ
 全8曲とアンコールに、N.ワシントン作詞L.ハーライン作曲「星に願いを」が演奏されました。
 お客様から
 ・秋と冬をとて感じる曲ばかりで心が温まりました。鹿児島初の「ネコのおくりもの」すごくかわいくて素敵でした。作曲家、ピアノの解説、と

てもわかりやすく勉強になりました。
 ・美しい歌声と演奏でした。「ネコのおくりもの」の歌詞が心に沁みました。
 ・素敵な時間でした。森さんの歌声はもちろん中村先生のピアノ、本当に素晴らしかったです。「ネコのおくりもの」良かったです。
 ・とっても良かったです。また聴きたいです。
 ・短い時間でしたが、芸術の秋を感じさせていただけの素敵な時間でした。
 などの感想をいただきました。



中村寛治さん(左) 森美紗さん(右)

●12月17日(日)は、春田智輝さん(サクソフォン)と久木山佳南美さん(ピアノ)のお二人で、
 ♪ジングル・ベル 作曲:J.ピアポント
 編曲:伊藤康英
 ♪クリスマス・イブ 作曲:山下達郎
 編曲:田中靖人

- ♪ノクターン 第8番 作曲：F.ショパン
 - ♪12のエチュード・カプリスより12番 作曲：E.ボザ
 - ♪Song For Ina 作曲：P.スパーク
 - ♪ピアノソナタ第8番「悲愴」より第2楽章 作曲：L.v.ベートーヴェン
 - ♪彼方の光 作曲：村松崇継
 - ♪ホワイト・クリスマス 作曲：L.バーリン 編曲：湯川徹
- 全8曲とアンコールに、作曲：E.モリコーネ・編曲：福廣秀一郎「ニュー・シネマ・パラダイスメドレー」が演奏されました。

- お客様から
- ・哀愁のテナーサクソに酔いしていました。サクソとピアノの音合わせが、なんだか素敵でした。クリスマスにピッタリな音色をありがとうございました。
 - ・カフェでお茶しながら楽器の音色を間近で聴ける雰囲気も良く幸せな気持ちになれて嬉しかったです。3種類のサクソフォンを聴けたので良かったです。
 - ・2人とも素晴らしい演奏で感動しました。曲の由来なども聞いてよかったです。
 - ・曲の紹介が嬉しい。身近に聴く曲もあり感激しました。
 - ・サクソの美しい音色、ソロでの演奏を聴いたのは初めてです。素敵な時間をありがとうございました。とてもシーンとききました。
 - ・クリスマスムードたっぷりに、ピアノやサクソの美しい音色にうっとりして楽しめました。ありがとうございました。
 - ・演奏者を近くで見ながらのコンサートは特にクラシックではなかなかないので心豊かになりました。
 - ・とても素晴らしかったです。ありがとうございました。
- などの感想をいただきました。



春田智輝さん(左) 久木山佳南美さん(右)

東川隆太郎氏 歴史講演会 やっぱり麓はおもしろい ～麓に伝わる歴史物語～

11月17日(金) 黎明館 2階講堂

『麓(ふもと)』とは
薩摩藩の外城制度において郷土が居住し、城下町の機能を有していた集落のこと。関ヶ原の戦いに敗れた薩摩藩は、幕府や他藩への警戒を強めつつ、日々、武芸に磨きをかけ、軍事力を強化しました。江戸時代末の薩摩藩の領内には120カ所もの麓があったと言われています。

講師：東川隆太郎氏
現存する古文書・歴史資料に基づいて、麓の歴史が紹介されました。

お客様から

- ・県外出身者です(鹿児島在住2年未満です)。独特の文化が大変魅力的な鹿児島の歴史についてもっと知りたいと思いました。東川先生のお話は大変わかりやすく楽しく、更に興味がわき

- ました。来て良かったです。ありがとうございました。
- ・話がウィットに富んでとにかく面白い。難しい話を楽しく聞けた。
- ・江戸時代の麓の武士の暮らしぶりが聞けて興味深く楽しく受講できました。
- ・麓に関しては興味がありましたが本日の講演で詳細に解説いただき、益々興味が持てるようになりました。
- ・各「麓」の成り立ち、面白かった。
- ・鹿児島弁で、多くの古文書を解説していただき、まだまだ聞きたかったです。



東川隆太郎先生

宝山プレゼンツ 岡本誠司

ヴァイオリン・リサイタル

12月23日(土) 宝山ホール 14時開演

出演者

- ・岡本誠司 : ヴァイオリン
- ・高木竜馬 : ピアノ

プログラム

◎ラヴェル

- ・ハバネラ形式の小品
- ・ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ短調“遺作”
- ・ガブリエル・フォーレの名による子守歌
- ・ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調

- 1. Allegretto
- 2. Moderato
- 3. “Perpetuum mobile” Allegro

- ◎クライスラー ラ・ヒターナ
- ◎ブラームス(ヨアヒム編) ハンガリー舞曲第5番
- ◎サラサーテ ツィゴイネルヴァイゼン
- ◎バルトーク ヴァイオリンとピアノのためのラプソディー第1番 Sz. 86 BB88
- ◎ラヴェル 演奏会用狂詩曲“ツィガーヌ”

アンコール
モンティ作曲「チャールダーシュ」



岡本誠司さん(ヴァイオリン) 高木竜馬さん(ピアノ)
お客様から

- ・ヴァイオリンの音色が多彩でとても美しかったです。初めて聴く曲も多く、興味深く聴きました。ピアノとの息が合って素晴らしい演奏会でした。ありがとうございました。
- ・とても艶のある音色で丁寧な奏法が印象的、生でこのような演奏が聴けてよかったです。大好きな曲ばかりでした。トークも楽しかった。
- ・テレビ等でよく聴かせていただいておりますが、生演奏が聴け、感動と嬉しさでいっぱいですが、力強さや透明感のある音、弾き方など感動した。間の取り方も好きだった。
- ・夢のような時間でした。初心者向けの分かりやすい曲目も入っていて、良い意味でハードルが低く感じました。一年で一番幸せな2時間でした。

などの感想をいただきました。

- 「子ども無料招待席(アップルシート)」についてお聞きしました
- ・子ども達の情緒を豊かにする良い企画だと思います。続けて欲しいですね。

○今回公演のアップルシート協賛企業様

セイカ食品(株) 鹿児島信用金庫 (株)南日本銀行

宝山ホール広報ボランティア『語いもんぞ』編集部
〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
電話(099)223-4221 FAX(099)223-2503
撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行